

公表:2024年3月31日

事業所名:プティ倶楽部2号館

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・個室もあり、一人あたり4㎡以上のスペースは確保できています。(最低基準は一人あたり2.47㎡) ・児童の学年が上がるとともに今後、狭く感じることもあると思いますが、活動内容や家具などの配置を工夫して安全に過ごせるようスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切な数の児童指導員を配置することが出来ています。児童の特性に合わせての配置人数も検討していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所が2階の為、昇降時は職員が児童の安全を見守るなどして対応させていただいております。室内は危険な箇所がないか、定期的に確認し対応しております。また、段差などつまずきそうなスペースをフラットにして対応しております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎朝、朝礼時や会議の際に実施しております。非常勤勤務のスタッフに関しては書面に残し、必要に応じて口頭で説明を行い、皆が周知できるようにして対応しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からの評価表を会議の場で共有し業務改善を行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			会社のホームページに公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在は行っていませんが、今後必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定例会議では法定研修を行っています。また、日程調整を行い外部研修も可能な限り参加できるようにしております。
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様と面談を行った内容を会議や朝礼時に共有し、話し合いの場を設け、計画に反映しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			新しいアセスメントツールを導入し、職員間で分析をしています。分析の結果や、保護者様との面談の際に伺ったニーズや課題を基に、サービス計画を作成しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当スタッフが会議の場などで意見を収集し、管理者と連携して作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童や保護者の意見を取り入れながら、毎月同じプログラムにならないように工夫しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日は時間配分を考え、制作や近所の公園、室内遊び、微細運動などを中心に活動し、長期休暇の時は季節に応じた課外活動やおやつレクなど様々な体験が積めるよう支援を行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性やその日の体調面などを踏まえ、個別の活動や集団活動を組み合わせで行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に打ち合わせをし活動内容の見直しや、役割分担などを話し合い実施しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		大事なことはその日のうちに、振り返りや事故等なかったかなどの情報共有を行い、翌朝にもう一度前日の振り返りを行っています。非常勤パートなどの方はその日のうちに情報共有出来ないことがある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動の終了後にその日の子どもの様子や支援した内容を入力し、振り返り会議で検証・改善をしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々、支援の振り返りを行う他、支援計画書更新の際にもモニタリングを行い、計画の見直しについて、職員間で意見を出し合っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの内容を組み合わせ様々な活動内容を盛り込んでいます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議への参加以外にも、相談支援専門員と密に電話連絡を取り情報共有しています。主に児童発達支援管理責任者や管理者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて児童の学校での様子やプティ利用時の様子を相談させていただいております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現状、対象となる児童がいないため連絡態勢は整えていませんが、必要に応じて整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			主に児童発達支援事業所の相談員と情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象となる児童がいないため、今後必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			区で行っている研修などで各専門機関との話し合いなどには積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		放課後児童クラブや児童館と交流する機会はありませんでした。障害のない高校生と活動で交流する機会がありました。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			区開催の連絡会には積極的に参加しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者との面談時や送迎の際や必要に応じて電話での対応をし、出来事を伝え問題やこれからの目標など細かなことまで話し、共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		送迎の際や面談時、電話等にて相談、助言などをしていますが、さらにきめ細かなサポートになるよう努めていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際や法改正があった際には、丁寧に分かりやすく説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			電話連絡や個別での面談を行い、保護者様の悩みに寄り添いながら対応を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に2回ほど保護者会を開催しています。今後も年2回の開催を目指し、保護者様同士の連携を図りたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際は迅速に対応させていただいております。職員間でも情報共有し対応を行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、HUGでの活動記録やプログラム、また、書面でもお便りやプログラム、写真を配布し情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			日頃から十分に注意しています。また、年に1回、個人情報の研修を行っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			HUGシステムでのチャットの使用や電話での対応を行い配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民の方との交流がなく、行事の参加はありませんが、公共施設を使用したり、地域で行われるイベントなどには参加しています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			研修で行った内容(マニュアル)を保護者様が分かるようHUGの活動記録やお便りで掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、子供たちと行っています。水害や火災、地震を想定した訓練を行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回以上虐待防止研修を行い、様々な事案を職員間で出し合い、虐待を未然に防げるよう務めています。他、年に一回以上、虐待防止委員会・身体拘束適性化検討委員会を開催し、各事業所の具体的な事例を共有し合い、防止策や改善方法を検討しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束に関する指針を作成し事業所に掲示しています。また、身体拘束についての研修も年に1回以上は行っています。現在身体拘束を行うことは想定していないため、計画書には記載していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時や、アセスメント更新時に保護者様より聴取し確認しております。医師の指示書が必要な児童はおりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月の会議や朝礼時などにヒヤリハットの振り返りを実施しています。